



評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)			次年度の主な課題
保健課	生徒・職員の健康及び安全に関する啓蒙活動と保健委員の積極的な活動の支援	各種健康診断における生徒、職員の健康状態の把握、指導・助言に努める。	A	A	B	生徒・職員の健康及び安全に関する啓蒙活動と保健委員の積極的な活動は保健室を中心に取り組む。 美化委員会による美化コンクールも今後は生徒主導でできる状況とし、次年度実施時期を考慮し行う。
		体育的行事における保健委員会の主体的な活動を支援する。	A			
		「保健たより」を毎月発行し、健康に関する情報の提供を行う。	A			
	美化委員会の活性化と、快適な生活環境を整備	校内安全点検を定期的実施し、安全な学習環境を整備する。	B			
		清掃用具の充実を図ると同時に、ごみの分別やトイレ清掃の徹底を図る。	A			
生徒が心身ともに健康かつ安全に生活できるようなサポート	美化委員会において、月毎の重点目標等を決定させる。	B				
	スクールカウンセラー・訪問相談員との連携を図り、生徒理解に努める。	A				
	防災非難訓練・熱中症対策講演会・救急救命実技講習会を実施する。	A				
総務課	本校教育目標達成のため、各分掌との連絡を密にした校務運営の円滑化・活性化	「新入生のしおり」「各分掌・学年年間教育計画」「規定集」「学校要覧」の編集及び作成を行う。	A	A	A	4月当初の資料の作成、諸式典等、各分担任に沿って、円滑に進めることができた。 職員室の整備及び、互助会活動については、個々の対応にはあるが、検討しつつ改善をしていく。
		PTA・同窓会・後援会との連携を更に深める。	A			
		式典を適切に企画立案し、その円滑な遂行に努め、学校活性化に寄与する。	A			
	諸式典の適切な企画・準備と資料および分析を残した改善	式典など資料を記録し、分析・反省・改善に努める。	A			
		職員室の整備・備品の充足に努める。	B			
校内施設・設備等の整備と生徒・職員が生活しやすい環境の向上	互助会の活動に協力し、職員の福祉増進に努める。	B				
広報課	広報活動の更なる推進	ホームページの内容の充実をめざすとともに迅速な更新を行う。	B	B	A	広報イベントは先生方の協力によりスムーズに行うことができ、かつ学校外への情報発信活動も盛んに行うことができた。しかし、中学生のイベントへの参加人数が減少しており、成果に結びついていないので、もっと効率のよい広報活動を検討したい。
		「学校案内」、「かしわんタイムス」の内容の充実をはかる。	A			
		広報課だけでなく全職員を巻き込んだ広報活動を展開できるような企画・運営を計画する。	B			
	広報活動を通じた本校教育目標の達成への貢献	他分掌との連携を強化し、広報的側面の支援・協力を積極的に行う。	B			
		記録写真等の記録・管理を行い、必要に応じて提供できるようにする。	A			
広報活動を通じた中学校・保護者・および地域との連携と、本校への志願者の増加に対する寄与	学校行事や生徒の活躍等を様々な形で発信できるようにつとめる。	A				
	中学生体験入学、PTAの学校訪問、出前授業などを積極的に受け入れ企画・運営を行う。	A				
	塾や公民館など外部機関への広報活動の企画を行い実施する。	A				
環境科学課	環境の柏陵を掲げる本校における環境教育の体系化	中学校訪問の時期を見直し、中学校の進路指導の実情に適した訪問を実施する。	A	B	A	校外研修は、よりよい研修のために研修場所の変更を加えたり、悪天候に臨機応変に対応したりして、所期の目的を達成できた。定期的な会議を通して、環境科学課内の意思疎通を図ることが出来た。中学校に応じてきめ細かな情報発信をすることができた。
		環境科学コース専門科目の授業内容の体系化、及び施設・設備・教材等の充実を図る。	B			
		諸団体との連携を重視し、事前研修、環境保護活動への具体的取り組みを充実させる。	A			
	環境科学コースの各生徒の個性に応じた進路実現をめざす生徒の育成	E C O委員会等を通して環境に対する喚起を促す。	B			
		定期的に会議を開き、日常的な生徒実態の把握と問題の共有化を図る。	A			
学外との連携と、広報活動の積極的な展開	校外研修を充実したものにするための改善・工夫を図る。	A				
第1学年	一人ひとりが当たり前前を当たり前前に実践できる人格の育成	出前授業や訪問を通して、地域(含、小学校・中学校・公民館)への情報発信と支援を行う。	A	A	A	今後基礎学力の定着の徹底を図るとともに、成績上位層の力を伸ばす取り組みを学年全体で取り組んでいく。 挨拶と清掃への取り組みを継続して指導し、生徒の自主性・積極性を伸ばしていきたい。
		各環境関連団体との連携を図る。	A			
		ホームページにおける環境科学コースの内容を随時更新する。	B			
	基礎学力の定着と自ら学ぶ姿勢の育成	日々の授業に対する姿勢や予習・復習の徹底を図り、基礎学力の向上を図る。	B			
		特に英語、数学の学習を重点化し、国公立大学への進学者と理系の強化を図る。	A			
学校環境の整備と、落ち着いた授業を受ける雰囲気醸成	進路目標の実現に向け、きっかけとなる情報収集に努める。	A				
第2学年	自ら考え、創造して、活動できる高校生活を支援	黙々と密ふきを徹底させ、心も磨かせる。	B	A	A	全体的に中だるみすることなく、学習に取り組むことができた。風紀面でも違反者が減り、指導の徹底が行き届いた。大学受験に向け、英検の奨励を行ったおかげ、多数合格者を出すことができた。1月は修学旅行があり、チーム柏陵としてリーダーの自覚を持たせていきたい。
		清掃後にきれいになった時の感動するような心を育てる。	A			
		落ちているごみを拾う高い奉仕意識を育成する。	B			
	基礎学力の定着を図るための授業の一層の充実	時を守るために、ノーチャイムでの時間厳守を行う。	A			
		リーダーの育成を図り、活力ある柏陵づくりを図る。	A			
日本一を合言葉に学業、部活動、地域活動への積極的に参加・活動と、自己実現に向けたステップアップ	基本的な生活習慣の定着を図る。	A				
	学業に意欲的に取り組めるように、予習復習の徹底を図る。	B				
	資格、検定習得を奨励し、効果的な学力アップを目指す。	A				
第3学年	最上級生として下級生の手本となる学校生活の確立	手帳を利用し、スケジュール管理や明確な目標を持たせる。	A	A	A	受験に向けて、さらに早期の意識付けが必要。 高い目標と、しっかりした将来設計のもとに、1日1日を大切に過ごすよう指導したい。 また、常に下級生の模範となるような行動をとることのできる生徒を育成したい。
		常に自らの進路を意識させ、学業に結びつけていく。	B			
		大学訪問、オープンキャンパスに参加し、進路目標を高く設定させる。	A			
	33期生全員の進路実現	権樹の時間や課外授業を充実させ、進学への意識を高めさせる。	B			
		高い目標を設定し、努力を惜しまない姿勢の涵養。	A			
人間性の育成	生徒の学力を分析し、教材を厳選し、指導法を工夫し、昨年度以上の進路実績の達成を目指す	B				
	スコラ手帳を利用した自己管理能力の育成。	B				
	厳しい受験生活を通じて、向上心・克己心を育てる。	A				
33期生全員の進路実現	学校行事を全員で取り組み、柏陵高校を選んで良かったと思える達成感を味わわせる。	A				
	日々の生活、授業、人権学習を通じて、鋭敏な人権感覚を養わせる。	B				